

## ジュニア・レポート Vol.5

宮崎県宮崎市立木花中学校  
実施日：2018年3月13日(火)

### 学校紹介



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー小中学校訪問の宮崎県での訪問先は宮崎市立木花中学校。  
2018年3月13日、木花中学校にフラッグを持ってきたのは、バルセロナ1992大会でバレーボールに出場した、南克幸(みなみかつゆき)さんです。  
フラッグ引継ぎセレモニーで、フラッグを引き継いだ3年生の渡邊和歩(わたなべかずほ)さんと2年生の原田サリー桜(はらださりーさくら)さんにジュニア・レポーターとして、南さんの講演の感想や東京2020大会に期待することを話していただきました。

### 自己紹介



木花中学校3年の渡邊和歩(左)です。部活は陸上の長距離をやっています。3年生の時に1,500m走と3,000m走の2種目ともに県で2位になり、九州大会に出場することができました。高校生になったら、駅伝部に入り、全国大会に出場したいです。今日は、オリンピックフラッグを振り、貴重な経験をする事ができました。

2年の原田サリー桜(右)です。私は陸上の短距離で100m走をやっています。リレーで県大会に出場したことがあります。私もパラリンピックフラッグを振ることができて、貴重な経験ができました。

### 南克幸さんの印象について



(渡邊) 南さんの講演を聞いて、早寝・早起きやご飯をいっぱい食べることなど、日々の基本を大切にしているところは、高校生活や競技を続けるにあたり見習いたいと思いました。

(原田) 小さい頃から努力して自分の夢を叶えたところが偉いと思いました。

### 東京2020大会に期待すること



(渡邊) 自国で開催される大会なので、盛り上げてほしいです。テレビで観戦することになるとおもいますが、自分が取り組んでいる陸上を応援したいです。



(渡邊) 陸上のリレーで、日本にまたメダルを取ってほしいです。また、東京2020大会では、パラリンピックがこれまで以上に注目されてほしいです。